

入札公告

平成23年11月22日

独立行政法人労働安全衛生総合研究所
理事長 前田 豊

1 競争入札に付する事項

件名及び数量

「現場計測用多点式振動騒音測定・分析システム」 一式

2 競争参加資格に関する事項

- (1) 契約を締結する能力を有しないと認められる者又は破産者で復権を得ていない者でないこと。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助者であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者はこの限りではない。
- (2) 以下の一に該当すると認められる場合は、その事実があつた後2年間を経過している者であること。なお、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても同様とする。
 - ① 契約の履行に当たり故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者。
 - ② 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し若しくは不正な利益を得るために連合した者。
 - ③ 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者。
 - ④ 監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者。
 - ⑤ 正当な理由が無くて契約を履行しなかった者。
 - ⑥ ①～⑤の一に該当する事実があつた後2年間を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人その他使用人として使用した者。
- (3) 平成22・23・24年度の厚生労働省競争参加資格（全省庁統一資格）において、厚生労働省大臣官房会計課長より「物品の製造」又は「物品の販売」でA、B、C又はD等級に格付けされている者。
- (4) 官庁から指名停止を受けている期間に該当しない者。

3 入札説明

日時：随時（平日9時～12時、13時～17時）

場所：〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1

独立行政法人労働安全衛生総合研究所総務課経理第二係

TEL：044-865-6111 FAX：044-856-6116

4 入札及び開札

(1) 入札書の提出

入札書は郵送又は入札会場への持参により受け付ける。

ただし、郵送する場合には、書留郵便等の配達記録が残るもので開札日（平成23年12月22日）の11時までに必着のこと。

郵送先：〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1

独立行政法人労働安全衛生総合研究所総務課経理第二係

(2) 入札及び開札の日時、場所

日時 平成23年12月22日（木）14：00

場所 〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1

独立行政法人労働安全衛生総合研究所管理棟1階会議室

5 機器に関する資料の提出

仕様書に記載されたメーカー以外の機器（同等品）で入札する場合には、当方が求める仕様を満たしているか確認する必要があるため、機器の名称、仕様等を示した資料を平成23年12月12日（月）までに提出すること。

6 その他

(1) 入札保証金に関する事項

入札保証金の納付を免除する。

(2) 入札の無効

上記2に示した競争参加資格を有しない者のした入札は、これを無効とする。

(3) 契約書作成の要否

要。

(4) 契約に係る情報の公表に関する事項

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月7日閣議決定）において、独立行政法人と一定の関係を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取組を進めるとされているところです。

これに基づき、別紙のとおり、当研究所との関係に係る情報を当研究所のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくよう御理解と御協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

以 上

<独立行政法人の契約に係る情報の公表>

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)において、独立行政法人と一定の関係を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取組を進めるとされているところです。

これに基づき、以下のとおり、当機構との関係に係る情報を当研究所のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくよう御理解と御協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

(1) 公表の対象となる契約先

次のいずれにも該当する契約先

- ① 当研究所において役員を経験した者(役員経験者)が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等として再就職していること
- ② 当研究所との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること

※ 予定価格が一定の金額を超えない契約や光熱水費の支出に係る契約等は対象外

(2) 公表する情報

上記に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表します。

- ① 当研究所の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当機構OB)の人数、職名及び当機構における最終職名
- ② 当研究所との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当方に提供していただく情報

- ① 契約締結日時時点で在職している当研究所OBに係る情報(人数、現在の職名及び当機構における最終職名等)
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

応札若しくは応募又は契約の締結を行ったにもかかわらず情報提供等の協力をしていただけない相手方については、その名称等を公表させていただくことがあり得ますので、ご了承ください。

入札説明書

1 競争入札に付する事項

- (1) 件名
「現場計測用多点式振動騒音測定・分析システム」一式
別紙仕様書参照のこと
- (2) 納入期限
平成24年2月10日(金)
- (3) 納入場所
独立行政法人労働安全衛生総合研究所 総務課

2 入札心得

- (1) 入札価格は、仕様書に基づいて算出した価格により入札を行う。
- (2) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5%に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって、当法人の規程に定めるところにより予定価格の制限の範囲内で申し込みをした者のうち最低価格の入札者を落札者とする。
※入札書の内容は消費税抜きの額を記載すること。
- (3) 入札書の形式は任意とする。
- (4) 入札書の宛名は、「独立行政法人労働安全衛生総合研究所理事長」宛とすること。
- (5) 入札書には、社名及び代表者名の記入、社印及び代表者印を押印すること。
- (6) 代表者以外の者が入札する場合は、委任状を持参すること。
- (7) 入札書における金額訂正は行わないこと。
- (8) 入札の最低価格が予定価格を超えている場合はその場で再度入札を行うので、そのための入札書を用意すること。
なお、郵送による入札の場合には再度入札には参加できない。

3 入札者に求められる義務

この入札に参加を希望する者は、入札公告2(3)の競争参加資格を有することを証明する書類（競争参加資格の写し）を入札時まで提出しなければならない。なお、郵送の場合は入札書に同封してもよい。

以 上

現場計測用多点式振動騒音測定・分析システム 仕様書

1. 購入目的

本騒音計の購入は、建設労働現場で騒音工具が発している騒音を測定し、建設業従事者がどのようなばく露を受けているのか調査することを目的としている。騒音は、音圧レベルのみならず、オクターブ分析、FFT(高速フーリエ変換)分析によって、実際どのような種類の騒音が発せられているか調査する。また、建設現場は騒音、振動、粉じん等といった様々な物理的要因に曝されていることから、手腕振動も同時に調査し、複合影響についても検討する。

2. 仕様

- (1) 3軸加速度センサーおよびマイクロホン 3ch の同時計測が可能であること。(計 6ch の入力が可能であること。)
- (2) Brüel & Kjaer 社の分析ソフトウェアをアップグレードして流用することが可能であること。
- (3) 機器は小型であること。単体で 800g 以下が望ましい。
- (4) 機器のダイナミックレンジが 160dB あり、計測時のレンジ切り替えが不要であること。
- (5) マイクロホンは 1/4 インチサイズで 65mV/Pa 程度の感度を持つこと。
- (6) マイクロホンは上限周波数 20kHz までで、自由音場、拡散音場のいずれの音場においても +2dB から -8dB の範囲で平坦な特性を持つこと。
- (7) 数時間に渡るレコーディングができること。また、PC に接続せず機器単体でレコーディングが可能なこと。
- (8) オクターブ分析、FFT(高速フーリエ変換)分析ができること。

3. 仕様の説明

- (1) 工具使用者の手腕振動(3系統)と騒音(1系統)の他に周辺環境2箇所(2系統)、計6系統(チャンネル)で測定できる機器であること。そして調査者人数、調査場所を考慮すると1台で測定可能であること。
- (2) 購入希望者らが有する Brüel & Kjaer 社の分析ソフトウェアライセンスを有効に流用したい。
- (3) 工具使用者に装着できる可能性、作業現場が狭い場合を想定し、できるだけ小型がよい。
- (4~6) 建設現場で騒音工具を使用する作業環境が、開口空間なのか閉鎖空間であるかは作業条件によって異なる。また発生する騒音の大きさは工具等により大きく異なる。そのような建設現場において集音することが可能な条件を備えていること。
- (7) 建設現場で数時間に渡るレコーディングが可能であること。作業現場に記録・分析用 PC を持ちこめるとは限らないので、機器単体でのレコーディングが可能であること。
- (8) 詳細に分析するための周波数解析ができること。

4. その他

- (1) 機器、PC等を測定が可能な状態に設定してから納品すること。